

学校訪問シリーズ 49

大分市立大分西中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

本校の学校経営方針、「すべての教育活動は、人権・同和教育の視点をもって計画・実践する」を基調とし、生徒（先生）も安心して楽しく学べる（働ける）授業（職場）とするため、互いの考えを聞き合う、互いの意見を支え合う関わりづくりをめざしています。特に、「先生も『わからない』『知らない』が言える。生徒や職員と一緒に学ぶ。実践で磨く。」という言葉には、心を打たれました。

そのために、職員の連絡事項等は ICT を積極的に活用することで、業務の負担を減らしつつ、必要な対話の時間を確保しています。

また、保護者に対しても、本音で語り合うような活動を取り入れ、地域や保護者のご意見を学校経営に取り入れるだけでなく保護者同士で助け合うような場づくりを目指しています。



授業から学ぶ

参観した授業では、教師の指導する声は少なく、課題解決に向けて生徒同士で学び合う温かな声が響いていました。

今後は、指導案の「ふりかえり」を、生徒が表現するような文で示すことで、本校の学校研究である「めあて、課題等の設定」との連動や評価規準がより明確になると思いました。



NO.309 2022年10月 大分市立大分西中学校

調和する

それぞれの良さを尊重し、全体を調えることが大切だね。



NO.305 2022年10月 大分市立大分西中学校

応援する人

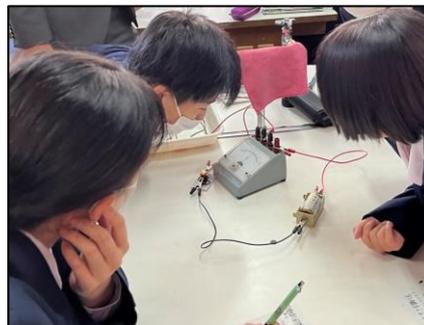
真剣に見てくれる人がいるから、拍手をしてくれる人がいるから、思いきって自分がだせる。



NO.307 2022年10月 大分市立大分西中学校

個別最適

一人一人のスピードは違う。だから、自ら課題をもって取り組んでみる。



NO.306 2022年10月 大分市立大分西中学校

組織的に

回路を組み立てる人、記録をする人、それぞれ交代することで、役割の大切さがわかる。



NO.308 2022年10月 大分市立大分西中学校

学び合い

教える、教えられるという関係ではなくて、共に良いものを創るのが学び合いだね。